廣福寺だより

2020年11月

秋期彼岸会・合同年忌法要の様子

お参りを再開しました！

寺のお参りを再開しました。この夏の盆参要・新盆から、さらに九月の彼岸会・合同要をお勤めいたしました。

新型コロナウイルス対策のアルコール消毒を置き、トイレのお手ふきは使い捨てペータオルにしました。

お斎は、お弁当の持ち帰りにしていただきました。お勝手の皆様の心のこもったお斎、みんなで語りあいながらいただいた、今での当たり前に見えた時間が大切なものでったなあと気づかされました。

これから広福寺では報恩講をお勤めします。何百年も続く私たち真宗門徒にとって最大切な行事です。宗祖の親鸞聖人がお念仏教えを伝えて下さったことへの「ご恩に報る集まり」が報恩講です。

本山では十一月二一日から親鸞聖人のご命の二八日まで「御正忌報恩講」としてお勤します。地方の寺ではその前に「お取り越報恩講」としてお勤めします。寺によって取りが違います。広福寺では十一月七日に勤めします。ぜひともお参り下さい。お弁持ち帰りのため、申込制です。ご連絡をおちしています。

法　法
パ　液
を　ま
あ　ま
す　を
も　ま
の　せ
い　ん
日　
め　
し　
お　
当　
待

彼岸会 合同年忌法要

九月二十二日（火）の彼岸の中日に、秋期彼岸会、ならびに合同年忌法要が勤まりました。

昨年同様、十三回忌以降で法事があたっている方を対象にご案内を致しました。今年は新型コロナウイルス感染予防の為、人数制限をしてのお参りとさせていただきました。お参りの方と共に「舌々正信偈」のお勤めをし、『仏説無量寿経』の読経の際に順番に焼香して頂きました。お勤めの後は住職と心光寺が法話をし、お斎の代わりにお弁当を持ち返っていただきました。

○住職の法話から○

「生きてるだけで丸もうけ」

みなさん明石家さんまさんはご存じですね。ではお嬢さんの名前は知っておられますか？ときどきテレビで見かけます。お名前はＩＭＡＬＵ（いまる）さんです。珍しいお名前ですが、名前の由来を先日インターネットの記事で読み、びっくりしました。

さんまさんはよく「生きてるだけで丸もうけ」ということばを口にされますね。実はこの生きてるの「い」と丸もうけの「まる」の頭文字を取ったのが「いまる」という名前の由来なんだそうです。すごい名前の付け方だとびっくりしました。

「生きてるだけで丸もうけや！」とさんまさんが関西弁で叫ぶと、あっという間にお笑いの世界に連れて行かれますが、このことばの背景を知ると「なるほどなあ」とうなづかされました。

……一九八五年に日航機の大事故があり坂本九さんをはじめ五二〇人の方が亡くなりました。墜落した八月十二日は五二〇人の方の命日です。実は私の学生時代の知り合いもそのうちのお一人でしたので、今でも墜落した御巣鷹山でお参りをする方々の姿をテレビで拝見すると、切なくなります。実はさんまさんも毎週、東京でのテレビの収録後、この日航機の便に乗られていたのだそうです。たまたまその日の収録が早く終わり、一本前の飛行機に変更したため、難を逃れたということでした。そのほかに大きな借金を抱えた時期もあり、さんまさんは生死のことを深く考えられたようです。

「生きてるだけで丸もうけ」というと損得だけの少し下品な感じがしますが、別の言い方をすれば、生きていることは少しも当たり前ではなくて、かけがえのないいのちを、今ここに私がいただいているのはすごいことだということです。

法事のときに、「ああ何の幸いぞ、われ今すでに受け難き人間の生を受く、ああ何の喜びぞ、遇い難き仏法に遇いたてまつれり」という文を読み上げます。仏法、お念仏とは自分の今あるいのちの意味を発見することなのです。

今年の広大会は新型コロナウイルスのため、しばらくお休みにしていましたが、八月から再開しました。例年の流しそうめんは中止とし、代わりに境内を使った「水鉄砲バトル」を行いました。子どもたちは赤青の二チームに分かれ、頭に付けた金魚すくいの「ポイ」を的代わりに戦います。途中からはチーム入り乱れてずぶ濡れの戦いとなりました。

九月は「シャボン玉あそび」を行いました。大きなシャボン玉ができてみんな大はしゃぎです。保育園児は泡風呂を楽しんでいました。

盆参法要

今年の盆参法要は八月一日(土)、二日(日)に行いました。新型コロナウイルス拡大のため、新盆の方は人数制限を設けてのお勤めとなりました。イスの間隔を空けたり消毒液を入口に用意したり、いつもの本堂の様子とは変わった中でのお勤めでした。法話もマスク着用にて行わせていただきました。お斎の代わりにお弁当を持ち返っていただきました。

当院法話８月２日(日)

行　事　案　内

報恩講（お弁当持ち帰り）

11月7日（土）

【日中】　勤行　午前10時より
法話　出雲崎　万因寺　高橋　速円師
正午　お弁当持ち帰り

※今年は夜のお参りは中止しました。

※お参りの方は11月1日(日)までにお申し込みください。

広福寺 ☎0256-94-2437　または世話方さんにお伝えください。

女性講

11月24日(火)

勤行　午前10時より
法話　月潟　梵行寺　木村　俊尚師

※お斎・お弁当はありません。

●リラックスヨガ●

日時　11/17(火)
19:30~20:30
参加費　1,000円
持ち物　ヨガマットもしくは
バスタオル

今年最後の開催です。
どなたもお気軽にお越しください

◎お仏壇（お内仏）にお参りを

①お内仏に軽く一礼する
②線香は香炉に入る大きさに折り、
寝かせてくべる
③焼香を持ち上げず真横に2回行う
④お念珠を手にかけ「南無阿弥陀佛」
もしくは「なまんだぶ」と称え、
礼拝する
⑤お内仏に軽く一礼する

発行者　広福寺　〒959-0318　新潟県西蒲原郡弥彦村麓6590　☎0256-94-2437